

甲賀町の代表的な文化財



いちいの観音 樺野寺
櫻野寺は、延暦11年(792)に比叡山の開祖教大師が櫻の生樹に一刀三札のもと刻まれたのが、本尊の日本最大坐仏十一面觀音菩薩と伝えられます。



甲賀の里の祇園さん 大鳥神社
平安期に起源を持ち祭神は、素戔鳴尊、大己貴命、奇稻田姫。大原祇園祭は7月23日が宵宮祭、翌24日は本祭で花奪いの神事がクライマックスです。



油日神社
南鈴鹿の靈峰油日岳の麓に鎮座し、「日本三代実録」によれば、平安時代の元慶元年(877)に「油日神」が從五位下を授かった古社です。油日岳が神体山です。

近隣の名所



大福寺「徳本桜」
19世紀初めに高名な浄土宗の僧・徳上人が寺に立ち寄り、講が結成された記念に植えられたなどの説があり「徳本桜」の名で親しまれる。樹齢200年以上とされ、境内で見事な枝ぶりを広げます。

スマホやタブレットから
詳しくご覧いただけます

大原の文化財や名所などの解説は、
QRコードを読み取ってご覧ください。



大原自治振興会ホームページ内の
歴史・文化財掲載のページで
詳しくご覧いただけます。

